

赤石太鼓40周年記念公演



井川と川根をつなぐ

いかわね新聞

No.19

かわねの地に響く 伝統の「音」



赤石太鼓40周年記念公演の様子

令和4年11月13日(日)、川根本町文化会館にて「赤石太鼓40周年記念公演」が開催されました。公演当日は、赤石太鼓の代表曲である「赤石山霊龍神太鼓」や「小長谷城陣屋太鼓」などのほか、太鼓芸能集団「鼓童」の元メンバーで和太鼓、篠笛の奏者として世界でも活動する神谷俊一郎氏作曲の新曲「川根本町実り唄」が初披露されました。また、赤石太鼓のほか、島田市で活動する「金谷大井川越し太鼓」と浜松市で活動する「遠州天竜太鼓龍勢組」の友情出演で会場を盛り上げました。

赤石太鼓の歴史は昭和56年から始まり、当時、合併前の旧本川根町には芸能文化として一部地域には古来の神楽等が伝承されていましたが、町全体を代表する郷土芸能はありませんでした。そこで芸能文化を育て、地域住民の連帯感と郷土愛を築くと同時に町の活性化とコミュニティづくりを目指し、また、愛好者を広げて将来へ託したいという思いから「赤石太鼓」が創設されました。

その翌年には、赤石太鼓保存会が発足されました。発足当初から赤石太鼓保存会として活動する中原康夫氏は、「太鼓のおかげで素晴らしい人たちに出会うことができ、自分の人生がまた一つ違うものになった。これから後輩たちにはこの太鼓の良さを自分のものだけにせず、たくさんの方に発信し、そこから太鼓に関わってもらい、楽しんでもらえれば嬉しい」と今後の赤石太鼓の更なる発展に向けて明るく挨拶しました。

40周年記念
公演の動画
はこちら



EVENT

笑顔がいっぱい いかわねの イベント！

かわね
奥大井
ふるさとまつり

11月12日(土)に音戯の郷駐車で奥大井ふるさとまつりが開催されました。多くの町民などが訪れ、美味しい食べ物や地場産品を購入しました。



多くの来場があった「奥大井ふるさとまつり」

ステージイベントも行われ、歌や赤石太鼓、地元有志の踊りなども披露され、3年ぶりの開催を楽しみました。

かわね
川根本町
資料館やまびこ
30周年イベント

11月19日(土)に資料館やまびこで30周年記念イベントが開催されました。



鹿角で指輪作りを体験する様子

当日は、記念式典の他、「大井川とその周辺の移り変わり」というテーマで特別講演が行われました。また、駐車場では、物販や砂金採り・狩猟・鹿角、皮工作等の体験活動も行いました。

いかわ
井川湖渡船
秋まつり

11月12・13・19・20日の4日間、『井川湖渡船秋まつり』が開催されました。



フォトラリーの景品交換に訪れた参加者

井川の指定スポットを撮影して巡る「井川フォトラリー」では、複数日参加した方や、当日知ったが全部のスポットを回る方など、色々な方にご参加いただき、景品交換所では楽しかったとにこやかに写真をを見せていました。
井川湖を周遊しながら地元の食材を使ったお弁当を食べるランチクルーズの特別運航もあり、参加者は目と舌で井川を満喫していました。
同期中の会場周辺も、地元の有志が出店した飲食物や土産品を求める人で賑わいました。

いかわ
井川マウンテン
マラソン

11月5日(土)に、井川マウンテンマラソンが開催されました。井川来訪中であつた静岡市長の合図でスタート！今年は100名を超える選手が井川の山を駆け抜けました。



絶好のトレラン日和！

井川出身のトレイルランナー・望月将悟さんや日本各地からのゲストランナーとの交流、紅葉広がる自然を堪能できることがこの大会の醍醐味です。また、同時開催のサテライトイベントには、井川やオクシズ地域から屋台やミュージシャンも参加！
澄んだ青空の下、美味しいものに舌鼓を打ち、音楽をめいっぱい楽しむ、選手・ご来場者、ボランティアのみなさんの笑顔が印象的なイベントとなりました。

を 支える力



中部電力(株)静岡水力センター 菌田剛弘さん

Q どんな企業？

当センターは、再生可能エネルギー総括事業所として、大井川水系を中心とした水力発電所に加え、太陽光発電、風力発電所を運転・保守しています。また、大井川の上流のダムで貯めた水は発電だけでなく、下流地域で農工業用水や上水道としても幅広く活用されていますので、水と電気の安定供給を常に考えながらダムと発電所を運用しています。

Q いかわね地域に対する思いや期待することは？

春の新茶、夏の新緑、秋の紅葉、冬の星空、温泉、南アルプス、伝統芸能、在来作物やジビエを使った食事など、「いかわね」は住む方にも訪れる方にも魅力ある地域です。これら、この地域ならではの強みを残し続けてほしいと思います。

Q いかわね地域の住民の方にメッセージを！

電力会社は地域密着型の企業です。これからも地域の皆さまとのコミュニケーションを大切にし、地域の一員としてお祭り、清掃活動など積極的に参加させていただきながら「いかわね地域」の盛り上げに微力ながらお役に立ちたいと思っています。



千頭大祭に参加した時の様子

Q 企業として、いかわね地域での活動内容や今後の展望は？
一昨年と昨年の冬期に、(株)大鉄アドバンス、大井川鉄道(株)とともに、井川線を利用した井川ダム内部見学ツアーを開催しました。行楽シーズンとは

南アルプス

環境学習アプリ開発中!

〜井川・本川根中学校の皆さんが大活躍!〜

静岡県自然保護課を、静岡県環境部環境局自然保護課の職員から紹介していただきます。

静岡県自然保護課では、南アルプスの貴重な自然環境の価値や、培われてきた文化をはじめ、それらが持つ魅力を次代を担う子ども達に伝え、未来に引き継ぐため、南アルプス環境学習アプリの開発を進めています。

南アルプスは、平成26年にユネスコエコパークに登録されたほか、日本で五か所の『原生自然環境保全地域』のうち、本州唯一の地域であるなど、その自然環境はまさに世界の宝です。



「赤石の謎」に迫る体験の様子



しかし、南アルプスは急峻で奥深く、その研究がほとんど進んでいないこともあり、先生がその魅力を伝えるのに必要な情報も多くはないのが現状で、子ども達にとっても南アルプスの価値や魅力に触れ、学ぶ機会はありません。

そのため、県内の児童、生徒であつても、南アルプスについてよく知らないのが現実であり、そのまま大人になつていきます。

この現実を直面し、私たちは、南アルプスをより良い形で未来に繋いでいくことに大変な危機感を覚えました。

そこでまず、子ども達が環境学習を通して南アルプスの素晴らしさに触れ、学び、知ることができる機会を作り、南アルプスを身近なものとし、この地域を、そしてそこに住むことを誇りに思えるようにしたい。そして、この想いを全

国の子ども達と共有したい。そのようなことから、南アルプスの自然環境などに関する教科書を開発し、インターネットに公開し、地元だけでなく、全国の子ども達も体験できる仕組みをつくることにしました。

開発に当たっては、先生が教材として使えることももちろんですが、子ども達が『実際に楽しんで南アルプスに触れ、学ぶ』ことができなければ絵に描いた餅です。つまり、教育現場の生の声が必要です。



タブレット学習教材の試作品を検証

そんな折、井川及び本川根中学校の皆さんから、開発に協力するとお声かけをいただいたのです。

そして、去る9月30日。本川根中学校裏の大井川を舞台に、開発中の体験学習とタブレット端末を使った学習問題の実証試験に臨

んでいただきました。

厳しい残暑の中、両校生徒の皆さんには、額に汗をかきながら、大変積極的に実証試験に取り組んでいただいたほか、多くの感想、御意見をいただくなど、私たちが予想していた以上の成果をあげることができました。

現在、アプリの開発は最終段階を迎えています。

私たちは、今後、全国の多くの先生や生徒の皆さんにこのアプリを体験し、南アルプスの素晴らしさを知ってもらえるよう取組を進めていきます。

両校の生徒の皆さん、そして先生方は、全国に向けたこの取組の開発者の一員です。



アプリの開発目的を確認

これからも両校の皆さんと、『チーム南アルプス』として、共に歩を進めていければと願っています。

協力隊はこんなことを語ります!



川根本町の地域おこし協力隊は…中山間地域の活性や観光促進、女性わな猟師の話など



井川の地域おこし協力隊は…魅力ある井川の美味しい食べもの・文化・歴史など



YouTubeチャンネル「みんなの南アルプス」に地域おこし協力隊やお馴染みのあの人も出演!

静岡県自然保護課が運営するYouTubeチャンネル「みんなの南アルプス」に、いかわねの地域おこし協力隊が出演します。「南アルプスYouTubeカレッジ」と題して、協力隊員が井川・川根本町それぞれの活動エリアについて語ります! 番組収録会場には、南アルプスの山小屋管理人や自然調査を担う人など、プロフェッショナルが集結! 収録前後も南アルプスやいかわねの話題で大盛り上がり! 会場は、終始南アルプス愛あふれる、和やかな雰囲気でした。

ユネスコエコパーク登録から2024年で10周年を迎えます。豊かな自然環境に調和した地域ならではの魅力発信に貢献できるよう、番組作りに取り組みます。収録後、順次公開となります。ぜひご覧ください。



みんなの南アルプスは、こちらの二次元コードからご覧いただけます。美しい映像や専門家のお話など、興味深い番組が多数掲載されています!



2023 1月~
 いかわねの イベントカレンダー

12月	~ 2月12日(日) 毎週土日運行 (12/31、1/1を除く)	かわね	星空列車
	24日(土) ~ 3月12日(日)	いかわ	リバウエル井川 スキー場オープン(予定)
1月	1日(日) ~ 1月9日(月・祝) (1/4、5除く)	かわね	DAY OUT WITH THOMAS
	10日(火) ~(終了未定)	かわね	大井川鐵道 ゆるキャン△キャンペーン
2月	22日(日)	いかわ	リバウエル井川感謝祭
	5日(日)	いかわ	リバウエル井川 雪だるまコンテスト
3月	5日(日)	いかわ	リバウエル井川 ありがとうDAY
	25日(土) 又は26日(日)(予定)	かわね	小長井お花見マルシェ

※予定は変更される場合があります。

井川ビジターセンター
 ☎054-260-2377
 川根本町まちづくり観光協会
 ☎0547-59-2746



リバウエル井川スキー場
 ☎054-260-2316

リバウエル井川は大井川沿い唯一のスキー場。南アルプスの山々と富士山を眺めながら滑ることができる。ゲレンデは、初心者

やこども連れにもピッタリ！
 レストハウスの名物「おらんどカレー」は、ルーには在来じゃがいも・おらんどをトッピングには別の種類のじゃがいもを使い、食感の違いを楽しめるこだわりの逸品です。

この冬はぜひ、冬用タイヤを装着の上、大自然の中ゆったり楽しめるスキー場を訪れてみてはいかがでしょう。

おらんどカレー

ゆ き ん こ
YUKINCO

「井川の農作物を使った商品を作りたい」との想いを持ったお母さんたちと井川の地域おこし協力隊が開発したお菓子がYUKINCO(ゆきんこ)です。県内有数の降雪地域であることにちなんで名付けられました。井川の伝統作物・赤石豆(落花生)とゆずを使ったクッキーは、ほんのりとしたゆずの香りと赤石豆の香ばしさが口に広がります。サクッとした食感も心地よく、何個も食べたくなる美味しさです。

主な販売店 アルプスの里、井川ビジターセンター
 じんきち(富士見峠近く)

はたなきおつりばし
絶景の畑薙大吊橋
 紅葉の見頃:例年11月上旬

いかわ

通行可能な道に制限はありつつも令和4年の秋も、井川には沢山の方が訪れ紅葉を楽しんでいただきました。井川の集落がある地域より北上し、徒歩か自転車で行けない畑薙大吊橋は、たどり着くために時間がかかってもなお、多くの人を魅了する人気の紅葉スポットです。畑薙より少し遅れて始まる井川湖畔の紅葉は、渡船やドライブでも楽しめます。南アルプスあぶとラインに揺られ楽しむなら、11月上旬から中旬の井川ダム周辺がオススメです。次の秋もぜひ見に来てください。

アクセス:井川駅から沼平ゲートまで車で約1時間。ゲートから徒歩約40分。

すまたぎょう
寸又峡の紅葉
 紅葉の見頃:例年11月上旬

かわね

これ知ってる?

おすすめの紅葉

今年も寸又峡で、きれいな紅葉を見ることが出来ました。一時は、台風15号の影響により道路が通行出来ない状態でしたが、様々な方のご支援により道路は復旧され、観光客もきれいな紅葉を見ることが出来ました。令和4年11月現在、夢のつり橋は渡ることが出来ず、散策コースを歩いての見学となっています。来年の紅葉は、夢のつり橋からも眺めることが出来ると嬉しいですよ。

アクセス:【車】新東名高速道路 島田金谷ICから北上 約90分
 【電車とバス】大井川鐵道本線新金谷駅から千頭駅まで電車で70分
 ※千頭駅から寸又峡温泉行路線バスで寸又峡温泉入り口バス約40分
 ※大井川鐵道本線は、11月末現在、運休しています。お越しの際は、最新の運行情報をご確認ください。

【会員】静岡森林管理署、天竜森林管理署、静岡県、静岡市、川根本町(株)、特種東海フォレスト、中部電力(株)静岡水力センター、しずてつジャストライン(株)、大井川鐵道(株)、千代田タクシー(株)、十山(株)、川根本町森林レクリエーション推進協議会、井川山岳会(協)、井川観光協会、川根本町まちづくり観光協会、南アルプス・井川エコツーリズム推進協議会

【会の紹介】南アルプスエネコエコパーク静岡地域連携協議会は、南アルプス周辺地域の自然環境の保全と文化の継承を図り、その持続可能な活用を推進することを目的とした協議会です。※この新聞では、川根本町の情報を「かわね」と表記しています。